

主催 認定NPO法人いわき放射能市民測定室たらちね

『内部被ばくの仕組みとトリチウムの危険性』

西尾正道講演会



後援：いわき市

2021年1月23日(土)

第1部 13:00～13:40

休憩

第2部 13:50～14:30

※オンライン開催 参加費無料 定員100名

ZOOMを使用し、オンラインで開催いたします。

リモートによる視聴をご希望される方の申し込みを受け付けさせていただきます。
下記の申し込み先にご連絡をいただき、必要事項をご記入いただきますようお願いいたします。
※定員になり次第、締め切らせていただきます。

お申込み先：toiawase@tarachineiwaki.org

件名：西尾正道講演会

氏名・メールアドレス・電話番号・在住の都道府県・所属（個人の場合はご記入なしで結構です）

福島第一原子力発電所の事故からまもなく10年が経とうとしています。あの時から変わらず存在し続ける放射性物質、溜まり続ける汚染水、先の見えない廃炉作業…。社会の中の関心とは裏腹に、原発事故を取り巻く問題は、子どもたちの肩に背負わせる重い問題も含めて、目まぐるしく展開しています。

福島原発事故の収束は300年先までかかると言われている中、私たちは正しく知り、これからの子どもたちが歩む道を正しく整えていく必要があります。

今回は西尾正道先生をお招きし、内部被ばくの仕組みとトリチウムの基礎的なお話をして頂きます。スタッフ一同、皆さまのご参加をお待ちしております。



どうか、100年先、200年先の未来が、子どもたちにとってより良いものでありますように…。

西尾正道 にしおまさみち プロフィール

○函館市出身。1974年札幌医科大学卒業後、国立札幌病院・北海道地方がんセンター放射線科勤務。1988年同科医長。2004年4月機構改革により国立病院機構北海道がんセンターと改名後も同院に勤務し、08年4月同院長、13年4月国立病院機構北海道がんセンター名誉院長。1992年日本医学放射線学会優秀論文賞、2006年札幌市医師会賞、2007年北海道医師会賞・北海道知事賞受賞。著書に『がん医療と放射線治療』（2000年4月エムイー振興協会）、『がんの放射線治療』（2000年11月日本評論社）、『放射線治療医の本音ーがん患者2万人と向き合ってー』（2002年6月NHK出版）、『今、本当に受けたいがん治療』（2009年5月エムイー振興協会）、『放射線健康障害の真実』（2012年4月旬報社）、『正直ながんのはなし』（2014年8月旬報社）、『被ばく列島』（2014年10月角川学芸出版）、『患者よ、がんと賢く闘え!』（2017年12月旬報社）、その他、医学領域の専門学術論文・著書多数。



【オンライン講演会ご参加にあたっての注意事項】

- ①講演中はマイクをミュートにしてください。 
- ②録画録音、動画URLの無断共有、チャットでの誹謗中傷、参加者の情報公開は固く禁止させていただきます。発見された場合は直ちにご退場いただきます。記録用に主催側で録画させていただきます。 
- ③質疑応答の時間は設けておりません。ご質問がある方は事前にメールにてお送りください。
メール：toiawase@tarachineiwaki.org
件名：西尾正道講演会 質問

